

誰もが活躍できるウェルビーイングの高い
社会の実現に向けて②
(社会保障の強靱化)

参考資料

2024年5月23日

十倉 雅和

中空 麻奈

新浪 剛史

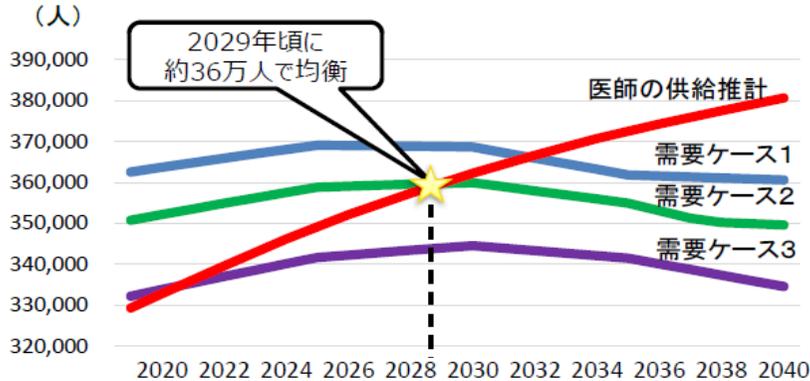
柳川 範之

国民の安心につながる医療・介護の提供体制

- 社会保障が「成長と分配の好循環」を支えるには、社会保障を持続可能なものとし、国民の将来不安を払しょくする必要。医療・介護について、DXやイノベーション創出に加え、サービス提供体制の構築や費用の適正化が長年の課題であり、「経済・財政一体改革の点検・検証」でもその点を指摘。
- 医療提供体制については、地域医療構想の実現とともに、医師の偏在に対して、経済的インセンティブと規制的手法のベストミックスによる是正策が必要。介護分野では人手不足の懸念等に対し、ロボット・AIの活用、経営大規模化、保険外サービス事業者との連携等を含む、介護サービス提供体制の中長期ビジョンを策定し、計画的に取り組んでいく必要。

医師の需給推計

～厚生労働省の推計では、医師の働き方改革と統合的な「需要ケース2」（週60時間労働）において、2029年頃に一国全体の医師需給が均衡～



首都圏の二次医療圏における医師偏在(2024年1月時点)

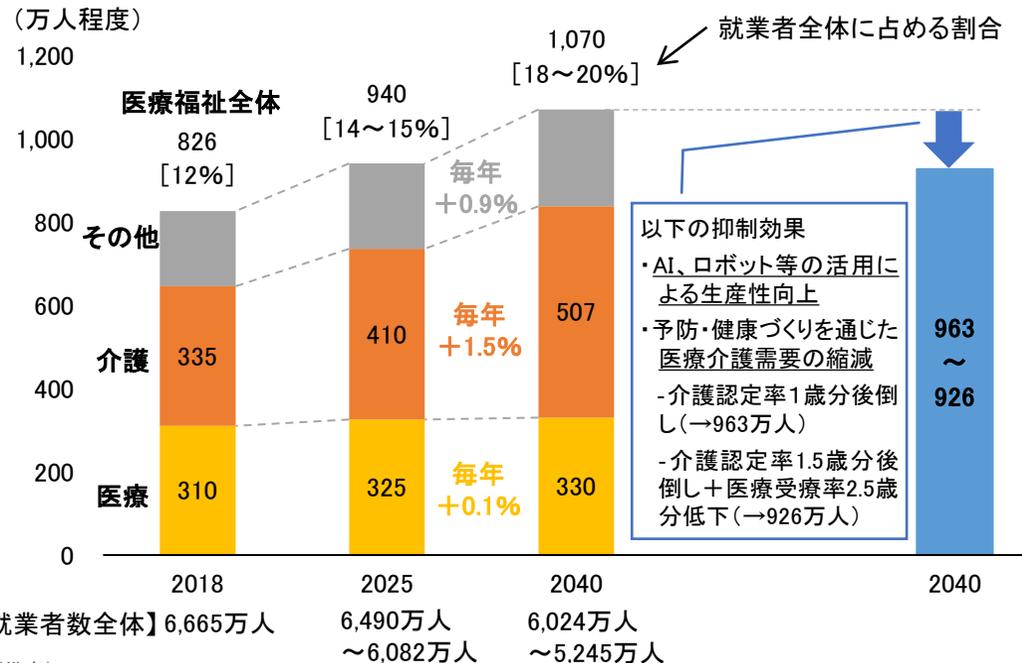
～一国全体で医師数が供給超過となり得る中で、医師が集中する地域の偏在是正が必要～

上位	二次医療圏	指標	下位	二次医療圏	指標
1	東京都 区中央部	789.8	37	埼玉県 秩父	157.5
2	東京都 区西部	569.1	38	埼玉県 利根	155.7
3	東京都 区西南部	413.7	39	千葉県 山武長生夷隅	145.1
4	東京都 区南部	380.4	40	東京都 西多摩	138.1
5	神奈川県 川崎南部	347.3	41	東京都 島しょ	131.6



医療福祉分野の労働需要の見通し(2019年推計)

～労働需要は高齢化により介護を中心に増加。2040年段階で、就業者全体の2割に相当し、特に介護分野で著しい人手不足が懸念～



以下の抑制効果

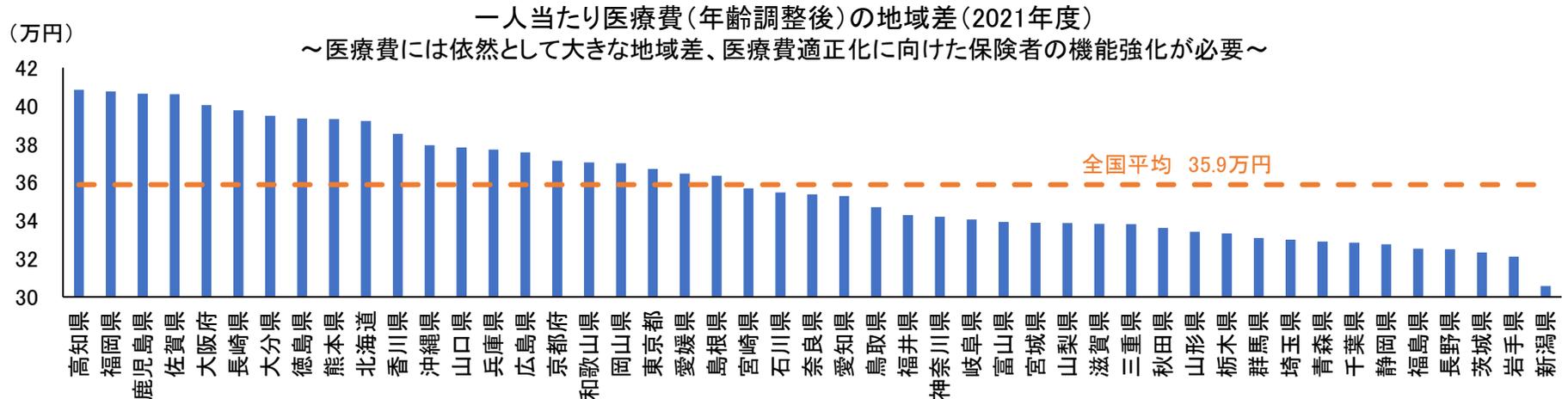
- ・AI、ロボット等の活用による生産性向上
- ・予防・健康づくりを通じた医療介護需要の縮減
- 介護認定率1歳分後倒し(→963万人)
- 介護認定率1.5歳分後倒し+医療受療率2.5歳分低下(→926万人)

【就業者数全体】6,665万人 (2018) / 6,490万人 (2025) / 6,024万人 (2040)

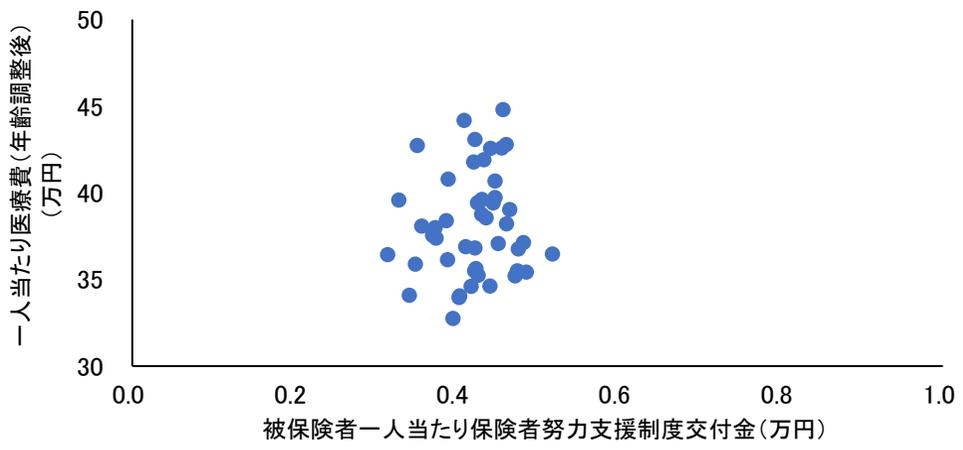
- (備考)
1. 左上図は、厚生労働省「医師養成過程を通じた医師の偏在対策等に関する検討会」(2024年2月26日)、財務省財政制度等審議会資料より作成。供給推計は、今後の医学部定員を2020年度の水準(9,330人)と仮定。需要推計は、労働時間、業務の効率化、受療率等を、一定の幅をもって推計。(ケース1)週55時間労働≒時間外労働:年間720時間、(ケース2)週60時間労働≒時間外労働:年間960時間、(ケース3)週78.75時間労働≒時間外労働:年間1,860時間。
 2. 左下図は、「医師偏在指標(二次医療圏)」より作成。医師偏在指標=標準化医師数/(地域の人口÷10万÷地域の標準化受療率比)
 3. 右図は、厚生労働省「2040年を展望した社会保障・働き方改革本部のとりまとめについて【参考資料】」、「2040年を見据えた社会保障の将来見通し(議論の素材)」より作成。労働需要の内訳は、「議論の素材」の比率を基に仮定計算したもの。

医療費適正化に向けた保険者機能の強化

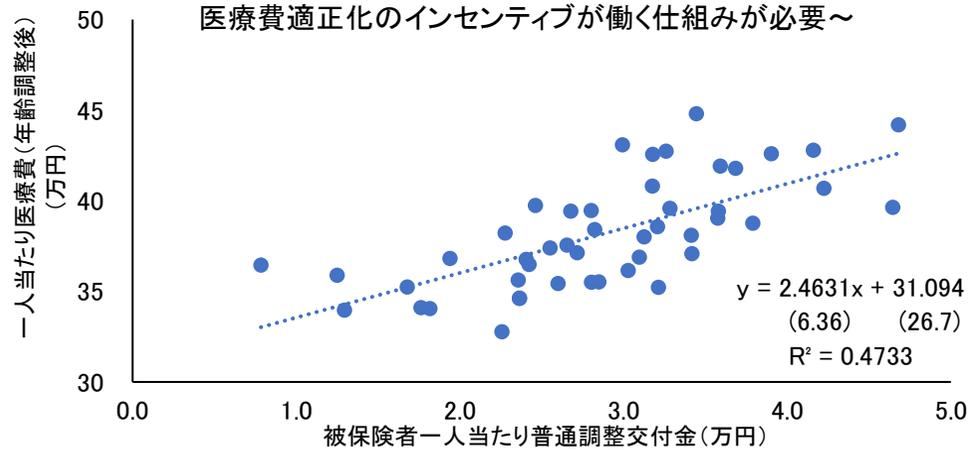
- 一人当たり医療費の地域差は依然として大きく存在。医療費適正化や持続可能な保険制度の運営に向けて、保険者の機能強化を図る必要。国保については、都道府県内の保険料水準の統一を進めるとともに、医療費適正化へのインセンティブ向上と所得調整機能の確保等都道府県のガバナンス強化を図るよう、普通調整交付金を含め改革を推進すべき。
- また、国民皆保険の堅持と両立させつつ、国民がイノベーションの恩恵を早期に享受できるよう、民間保険の活用も含めた保険外併用療養費制度の対象範囲拡大等も進めるべき。



保険者努力支援制度交付金(国保)と医療費
 (2018~21年度平均)
 ~医療費との明確な関係がみられず、アウトカムとの連動が課題~



普通調整交付金(国保)と医療費
 (2018~21年度平均)
 ~普通調整交付金は、年齢要因を除いた医療費(地域差)と連動。医療費適正化のインセンティブが働く仕組みが必要~



(備考)厚生労働省「2021年度医療費の地域差分析」、「国民健康保険事業年報」により作成。一人当たり医療費は、上図は国民医療費ベース、下図は市町村国民健康保険ベース。右下図の回帰式の()内はt値。